

TOHO

広報東峰

8

AUG.2026

Vol.257

★今月の表紙★

今月号の表紙は、清らかな川の水中から眺めた夏の風景。透き通る水の中では、大小さまざまな石が陽の光を受けて輝き、思わず川へ足を運びたくなる、夏ならではの涼やかなひとときを感じさせる一枚です。



東峰村を応援!! 高校生の行動力が地域の未来をつなぐ ～学生団体 BPC (Bridge People & Community) の挑戦～

一人の思いから始まった 「新たなつながり」

「地域のために何かできることはないだろうか。」

一人の生徒が抱いたそんな思いは、多くの人を巻き込み、今、東峰村との新たなつながりを生み出しています。

福岡市の福岡^{ふたば}雙葉高等学校で活動する学生団体 BPC (Bridge People & Community) は、「地域と人をつなぐ架け橋」をコンセプトに、過疎地域の魅力を発信し、地域活性化に取り組むボランティア団体です。SNS を活用した情報発信やフィールドワーク、伝統工芸品や地域特産品の受託販売、イベントへの参加など、高校生ならではの柔軟な発想と行動力を生かした活動を展開しています。

高校生だからできる地域づくり

BPC のこうした活動は、令和 7 年度には、福岡県主催「未来をつくる高校生チャレンジ 2025」に採択され、「Bridge between People and Community」をテーマに活動を展開しました。11 月には博多駅構内の「Q(CO-WORKING & CO-LEARNING SPACE)」で、東峰村の小石原焼や特産品を販売するイベントを開催。来場者との会話を通じて、東峰村の歴史や文化、ものづくりへの思いを伝えるなど、多くの人に地域の魅力を知っていただく機会となりました。



東峰村との出会い

BPC を設立したのは、代表を務める山崎^{やまさき}蒼生^{あおい}さん（福岡雙葉高等学校 2 年生）です。

山崎さんが地域づくりに関心を持つようになったのは、中学 2 年生の頃。帰省先である曾祖母の住む地域を訪れた際、放置農地や空き家が増え、かつての賑わいが少しずつ失われていく光景を目の当たりにし、「このまま大好きな地域が無くなってしまわないか」という危機感を抱いたと言います。

その後、自ら福岡県内の過疎地域について調べの中で出会ったのが東峰村でした。人口減少や高齢化という課題を抱えながらも豊かな自然、美しい棚田、そして約 350 年の歴史を誇る小石原焼など、多くの魅力を持つ東峰村に強く惹かれ、「この地域の魅力をもっと多くの人に伝えたい」と考えるようになりました。

そんな思いから、山崎さんは、学校の文化祭で東峰村の魅力を紹介できないかと考え、BPC の立ち上げ前に、一人で東峰村を訪問。小石原焼の窯元を訪ね歩き、「文化祭で小石原焼を販売し、多くの人に東峰村を知ってもらいたい」と、自ら委託販売への協力をお願いしました。突然の訪問にもかかわらず、その真っ直ぐな思いに共感した窯元の皆さんが快く協力を引き受けてくださったことが、現在の BPC の活動の原点となっています。



東峰村「ほたる祭」を支える

令和8年6月に開催された東峰村「ほたる祭」では、BPCの皆さんが運営ボランティアとして参加しました。

開催一週間前には、臨時駐車場として使用する村民グラウンドの草刈りや会場整備など、祭りを支えるための準備作業に汗を流し、当日も出店の補助や来場者対応など、さまざまな場面で活躍しました。

ほたる会会長の川村 清孝^{かわむら きよたか}さんも「ほたる会会員が高齢化や田植えの準備等で人手不足の中、祭りの前準備や当日の運営にもボランティアで参加いただいたことは大変うれしかった。来年も（祭りを）やらんといかん。」とおっしゃっていました。

高校生が地域住民と一緒に祭りを支える姿は、多くの来場者の心を動かし、その様子はRKBテレビ「タダイマ！」でも紹介されました。番組では、ほたる会会員と高校生が交流しながら祭りを支える姿が放送され、地域を応援する高校生の活動が広く紹介されました。



活動報告で伝えた「地域への思い」

後日、山崎さんが東峰村役場を訪れ、村長・副村長へ活動報告を行いました。

報告では、「未来をつくる高校生チャレンジ2025」で取り組んだ受託販売事業やほたる祭でのボランティア活動について、写真を交えながら活動内容を紹介いただくとともに、活動を

通じて感じた東峰村の魅力や地域の方々との交流について語りました。

終始和やかな雰囲気の中、村長・副村長からは、高校生が自ら考え、地域のために主体的に行動していることへの感謝と激励の言葉が贈られ、単なる活動報告にとどまらず、高校生と地域が未来について語り合う貴重な機会となりました。



未来へつなぐ架け橋

BPCでは今後も後輩へ活動を引き継ぎながら、SNSによる情報発信や地域製品の委託販売、地域イベントへの参加などを継続し、東峰村をはじめとする地域の魅力をより多くの人へ届けていく予定です。

一人の高校生が抱いた「地域のために何かしたい」という思いから始まった活動は、今では多くの仲間や地域の人々を巻き込み、都市部と東峰村、人と人をつなぐ大きな架け橋へと成長しています。

高校生の自由な発想と行動力が生み出す新たな地域づくり。BPCの挑戦が、これからも東峰村に新しい風を吹き込み、多くの人とのつながりを育みながら、地域の未来へと続くことを願います。



新しく着任した「地域活性化起業人」水澤氏より、皆さまへ

■ 東峰村がデジタルの力で「若者が戻りたくなる村」になるため

皆さんはじめまして。本年4月から東峰村役場で「地域活性化起業人」として活動しております、株式会社フリーゲルの水澤と申します。この場をお借りして、私の活動の背景や目的をご紹介します。



▲村長・副村長との会話の様子

なぜ、東峰村に「よそ者」がやってきたのか

地域活性化起業人とは、民間企業の社員が自治体に赴いて、その知見を活かして地域課題の解決を図る、総務省の制度です。本年3月、東峰村と株式会社フリーゲルとの間で連携協定が結ばれ、3年間にわたり私が村役場や村内企業のDX^{*1}推進を担当することになりました。

人口1,600人の村が抱える、切実な悩み

東峰村は人口約1,600人、高齢化率は県内でも高い水準にあります。一方で役場の業務は年々増える傾向にあり、限られた職員数で行政サービスを維持しながら、村の新しい取り組みにも挑戦していくには、日々の業務をできるだけ効率化し、人の手に頼りすぎない仕組みをつくるのが欠かせません。それは職員のためだけでなく、住民の皆さまへの対応をより早く、正確なものにしていくことにもつながると考えています。

目指すのは「若者が戻りたくなる村」

私はこの4か月間、まず庁舎内の業務の現状を丁寧に調査してきました。そのうえで見えてきたのが、生成AI^{*2}の活用や、仕事のやり方そのものを見直す業務改革に取り組める余地が大きいということです。

こうした取り組みの先に私が思い描くのは、若い世代が「東峰村に戻って働きたい」と思える村の姿です。以下では、この4か月で実施した具体的な取り組みについてご報告します。

人口減少時代のパワフルな助っ人！

「生成AI活用研修」を全庁職員向けに実施し、運用を開始 ～パソコンが苦手でも大丈夫だった、2日間の挑戦～

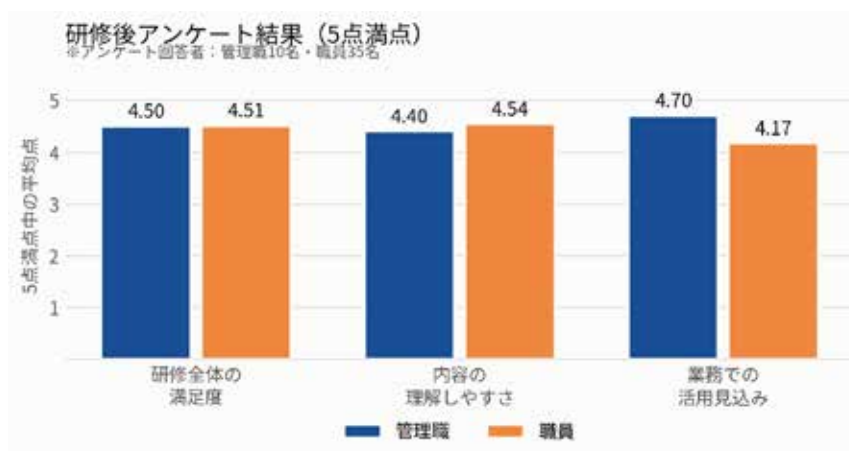
具体的な取り組みの一つが、6月29日と7月10日に実施した「生成AI活用研修」です。管理職12名、現場職員50名超と、あわせて60名を超える職員を対象に、3回に分けて開催しました。

研修では、生成AIの基本的な使い方に加え、個人情報を入力しないことなど安全に使うための注意点を学んだうえで、実際にパソコンを操作しながら「会議録の要約」などといった、日頃の業務に近い作業を体験していただきました。管理職・職員それぞれの立場に合わせた内容とし、和やかな雰囲気の中で活発な質問も飛び交いました。



▲生成AI活用研修の様子

「思ったより簡単だった」～広がった前向きな声～



▲研修後のアンケート結果

研修後のアンケートでは、「難しそうで敬遠していたが、意外に簡単だった」、「自分の仕事で使えそうなイメージが持てた」といった前向きな声が多く寄せられました。

満足度・理解しやすさ・活用見込みのいずれも高い評価となり、参加された職員の皆さんの意欲の高まりが数字にも表れています。

研修で終わらせない、村の未来をつくる仕組みづくりへ

個人情報をはじめとした機密情報を取り扱う行政による生成 AI の活用には、厳格なルール整備が求められます。このため、DX 推進員と協力し、安全に使うためのガイドラインを定め、8 月 3 日から運用を開始しました。今後も、安全性に配慮しながら、日常業務の中で無理なく使い続けられる仕組みづくりに取り組んでまいります。

あわせて、「庁内 DX」を推進するための体制づくりや、将来的に地域の IT 人材を村内で育て、「雇用の場」をつくる構想（とほテック（仮称））についても、現在村と検討を進めています。

この取り組みは役場内にとどめません。今後は商工会や、窯業・建設業・農林業といった村内企業・団体の皆さまにも、こうした研修や業務改善のノウハウを広げていきたいと考えています。私自身、民間企業で DX コンサルティングに携わってきた経験を活かし、村全体の「稼ぐ力」を向上させ、「若者が戻りたくなる村」づくりに貢献してまいります。

今後もこうした活動の一つひとつ丁寧に進めてまいりますので、皆さまには引き続き温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【水澤 敦史 プロフィール】

生年月日：1997 年生まれ（29 歳）

出身：埼玉県越谷市

所属：株式会社フリューゲル／IT コンサルタント

東峰村とのつながり：秋田県東成瀬村（「日本で最も美しい村」連合加盟）で地域おこし協力隊として活動。福岡出身の妻の家族が小石原焼の大ファンという縁もあり、東峰村との出会いにつながりました。

東峰村でやりたいこと：小石原焼の陶芸体験、棚田親水公園で娘と水遊び



▲水澤 敦史さん

※1 デジタル技術を活用して、仕事のやり方や暮らしをより良く変えていく取り組みのこと。

※2 質問や指示を入力すると、文章の下書きや要約などを自動で作ってくれる、パソコンで使える新しい技術のこと。

お役に立てるように頑張ります！

■ 村職員の紹介

◎地域おこし協力隊



▲岩田 英一郎さん
いわた えいいちろう

筑後地域を拠点に、トップリーグに参入し活動するラグビーチーム「ルリーロ福岡」でチームスタッフをしている岩田と申します。7月1日付けで、チームから派遣される形で、東峰むらたび観光局スタッフとして着任いたしました。東峰村とルリーロ福岡は令和7年12月25日にホームエリアに関する連携協定を締結させていただいております。また、前職は福岡県庁で観光行政に関わっていたことから、東峰村の観光・商工の振興と地域活性化、並びに選手との交流を通じた村民の皆様に対するスポーツ及び健康づくりに貢献できればと思っております。よろしくお願いします。

祝 全国大会出場権獲得!!

■ 第72回全日本中学校通信陸上競技大会福岡県大会

6月27日（土）～28日（日）、北九州市立本城競技場において、第72回全日本中学校通信陸上競技大会福岡県大会が開催されました。

東峰RCからは3名が参加し、8年生の藤澤 けいさんが男子800mで優勝、男子1500mで3位となり、どちらも全国標準記録を突破し、8月に山口県で開催される全国大会の出場権（どちらか1種目を選択して出場）を獲得しました。江藤 博文監督の指導の下、毎日の練習の成果を発揮された、すばらしい成績でした。

全国大会でも上位入賞を目指して頑張ってください。



▲走幅跳 かじわら りく
梶原 陸玖さん



▲藤澤 けいさん（表彰の様子）
ふじさわ

【女子】			
種目	名前	結果	
1年生 100m	7年生 いしまつ もも 石松 李望さん	47位	14秒 60

【男子】			
種目	名前	結果	
走幅跳	9年生 かじわら りく 梶原 陸玖さん	50位	5m14cm
800m	8年生 ふじさわ 藤澤 けいさん	優勝	1分 56秒 22 (全国大会出場権獲得)
1500m		3位	4分 04秒 59 (全国大会出場権獲得)

祝 全国・九州大会出場権獲得

■ 第 78 回福岡県中学校陸上競技大会開催

7月27日(月)～28日(火)、博多の森陸上競技場において、全国大会及び九州大会の予選を兼ねた福岡県大会が開催され、東峰 RC からは、朝倉市郡、筑後地区の予選を勝ち抜いた2名が出場しました。

東峰学園8年生の藤澤 けいさんが、男子共通800mと男子2年1500mの2種目で優勝し九州大会の出場権を獲得しました。江藤 博文監督の指導の下、毎日の練習の成果を発揮された素晴らしい成績でした。

また、藤澤 けいさんは6月の予選大会でこの2種目の全国標準記録を突破し、全国大会の出場権を獲得(1種目を選択して出場)しました。

8月4日(火)～6日(木)に佐賀県佐賀市で開催された九州大会及び、8月20日(木)～23日(日)に山口県山口市で開催される全国大会の結果は、9月の広報紙でお知らせします。



▲藤澤 けいさん (右)



▲黒木 愛太さん (中央)

【男子】			
種目	名前	結果	
共通 800m	8年生 藤澤 けいさん	優勝	1分 59秒 42 (九州大会出場権獲得)
2年生 1500m		優勝	4分 08秒 07 (九州大会出場権獲得)
1年生 1500m	十文字中1年生 黒木 愛太さん(東峰 RC所属)	19位	4分 49秒 23

日本とベトナムをつなぐ

■ JICA 青年海外協力隊 表敬訪問

7月10日(金)、ベトナム社会主義共和国のフーラン村を陶器の産地として自立・発展させていくため、JICA 青年海外協力隊として2年間の派遣が決定した小石原南区の元永 成洸さんが村長を表敬訪問されました。元永さんは「現地の陶芸家との技術交流や人材育成を通じて、地域の陶芸産業の発展に貢献するとともに、村とベトナム双方の陶磁器文化の魅力を伝え、両国の交流を深めたい」と派遣の抱負を述べられました。



▲集合写真



▲元永 成洸さん

新たな可能性へ

■「岩屋湧水」の調査結果について

村では、岩屋湧水を将来にわたって守り、地域活性化や観光振興などに生かしていくため、その価値を科学的な根拠に基づいて明らかにすることを目的として、昨年度、水質・水量調査を実施しました。併せて、飲料水としての活用可能性や市場動向についても調査を行い、岩屋湧水の新たな可能性を検証しました。

水の専門家が明らかにした水質【水質調査】

今回の水質調査は、長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科環境科学部 准教授 ^{かがぶ まこと} 利部 慎氏を中心に行われました。利部氏は、地下水や湧水、水循環などが専門で、各地の地下水や水資源に関する調査・研究に携わっています。

調査の結果、岩屋湧水は硬度 29.4mg/L の超軟水であることが確認されました。超軟水はまろやかな口当たりが特徴で、お茶やコーヒー、だしなどの風味を引き立てます。

また、pH8.4 の弱アルカリ性で、全国の名水百選の中でも特に高い値で、電気伝導度（EC）94 μ S/cm と低く、釈迦ヶ岳上部の山林を涵養域[※]とする天然の地下水で、人の生活圏の影響を受けにくい環境で育まれた、清浄性の高い湧水であることがわかりました。

水量についても、1日あたり約 12,000 トンという豊富で安定した湧出量が確認され、持続的に利用できる貴重な水資源であることが明らかになりました。

「超軟水」を生かしたブランドづくり【市場調査】

今回の市場調査は、FFG ビジネスコンサルティングによって実施されました。岩屋湧水は商業利用の可能性が十分にある一方、大手メーカーとの価格競争ではなく、「超軟水」、「圧倒的な清浄性」、「豊富で安定した水量」といった特徴を生かしたブランドづくりが重要であると提言がなされています。

また、県内ではミネラルウォーターの需要が供給を上回る状況にあり、大量販売ではなく、地域密着型・高付加価値型の商品展開が、岩屋湧水の強みを最も生かせると分析されています。

岩屋湧水の魅力を多くの人へ伝える

村では、この調査結果を受けて、岩屋湧水は地域資源として大きな可能性を持つものであることが改めて確認されました。

事業化については、市場ニーズを見極めながら段階的に検討を進めるとともに、民間企業との連携も視野に入れ、課題を一つ一つ整理しながら、持続可能な事業展開を検討していきます。



▲推定される涵養域

※ 水田、畑地、草地、林地、水域など、地下水を染み込ませ蓄えておける場所。

公 民 館 ひ ろ ば



■ 公民館つながり塾「小石原焼ろくろ体験」講座

6月24日（水）、小石原焼伝統産業会館において、6名の参加者がろくろによる陶器作りを行いました。ろくろを使って思い通りの形を作る工程に悪戦苦闘しながらも、お茶碗やお皿などを作陶しました。また、展示室の見学も行い、小石原焼の歴史も学んでいました。「貴重な体験ができて良かったです。」「出来上りが楽しみです。」などと大変好評でした。



▲展示室を案内してもらう様子



▲ろくろ体験の様子



▲出来上がった作品



▲作品の前での集合写真

★★★★★ 地域おこし協力隊だより ★★★★★

■ 木工職人の担い手（くにさだ なおき 國定 直記さん）



▲國定 直記さん

東峰木工塾（旧称：宝珠山木工塾）の運営をしております國定直記です。本年の8月をもって丸3年となり、任期の終了のご挨拶です。となるところでしたが、今年からの新制度が適用され2年延長となりましたので、引き続き地域おこし協力隊員としてよろしくお願いいたします。

そして、去年は怪我をしてしまい、仕事を断ったり延期したりと各所に御迷惑をお掛けしましたが、今はほぼほぼ元通りできるように回復しましたので、頑張っていく所存です。

また、木工塾があります宝珠山駅は、駅舎の改装や駅周辺の花壇の整備、そして今後は公園の整備とリニューアルが進んでますので、一緒に盛り上げて行けたらと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします



▲ POPO CAFE に作成したコースター



みなさん、こんにちは。DX 推進員の植田です。

8月に入り、いよいよ夏本番！どこへ行ってもジリジリとした強烈な日差しが照りつけ、うだるような暑さが続いていますね。こまめな水分補給をして、熱中症にはくれぐれも気をつけてこの大パレードのような暑さを乗り切っていきましょう。

第3回目となる今回は、スマホの文字入力が「小さくて押しづらい!」「面倒くさい!」と感じているみなさんに、とっておきの裏ワザをご紹介します。

第3回：声だけで動く？魔法の言葉「OK Google Hey!Siri」

スマホに文字を打ち込もうとすると、指が隣のボタンに当たってしまって「イライラッ!」とした経験はありませんか? そんな時にはこれです!!

スマホの「音声検索・音声入力」機能

実はスマホって、文字を指で打たなくても、こちらが話しかけた言葉を驚くほど正確に聞き取ってくれるんです。画面に向かってしゃべるだけなので、まるで身の回りの世話をしてくれる「お抱えの秘書」ができたような気分になりますよ。

1【お天気を聞く】「今日の天気は？」と声で話しかけるだけで、今日の気温や雨の予報をパッと教えてくれます。

2【文字を書いてもらう】LINE の返信なども、マイクのマークを押して、打ちたい内容をスマホに話せば、勝手に文字にしてくれます。

私は、料理中に「あれ、ナスの煮浸しってどうやって作るんだっけ？」と思ったとき、手が濡れていてもスマホに向かって「ナスの煮浸しの作り方！」と叫んでいます。すると、一瞬で美味しそうなレシピを見つけてくれるので、我が家の食卓でも大活躍していますよ！



▲声で検索する様子

ってなことで、スマホで豊かな暮らしへの第三步でした。「声で動くスマホ」を実際に体験してみたい方、「私の声も聞き取ってくれるかしら?」と思ったら即お電話を!!

フリーダイヤル 0120-194-104 (いくよ、とーほー) お電話待ってま〜〜〜っす！



役場からのお知らせ

宝珠山厅舍：72-2311

小石原庁舎：74－2311

ふるさと推進課

◆東峰テレビが公式 LINE をはじめました！

東峰テレビ公式 LINE では、番組の更新情報や東峰テレビからのお知らせを配信します。

また、皆様からの写真や動画、地域の話題などの情報提供も募集しています。「キレイな風景が撮れた」「地域のイベントがあるよ」など、スマホから簡単にお送りいただけます。お寄せいただいた内容は、番組内での紹介や番組づくりの参考にさせていただきます。

右側の QR コード、または「東峰テレビ」で検索して、ぜひ友だち登録をお願いします！



お問合せ

東峰村役場ふるさと推進課（電話：0946-72-2312）

ふるさと推進課

◆ AIR アドヴァイザー西本 幸弘さんとピアニスト外山 啓介さんによるデュオコンサートのお知らせ

AIR アドヴァイザー西本さん、ピアニストの外山さんをお迎えして、お子様、ご家族、音楽好き、みんなで楽しめるコンサートを添田町、東峰村で開催します！

夏の熱気や日常の喧騒を忘れて、心安らぐ素敵な音色に浸ってみませんか？

■開催日時・場所

【添田町】

日時：8/29（土） 14:30 開場 15:00 開演（終演 16:15 頃予定）

場所：オークホール研修室 1（福岡県田川郡添田町大字庄 952）

【東峰村】

日時：8/30（日） 13:30 開場 14:00 開演（終演 15:15 頃予定）

場所：小石原公民館 大会議室（福岡県朝倉郡東峰村大字小石原 941-9）

■定員

・添田町会場 約 100 名

・東峰村会場 約 100 名

※お席は先着順とさせていただきます。満員になり次第受付を終了する場合がございます。ご了承ください。

■入場無料。未就学児も入場可能。

■天候等の理由でやむを得ず中止となる場合がございます。

中止の際は「AIR 事業 HP」「AIR 事業 SNS」に掲載いたします。



▲ AIR 事業アドヴァイザー
にしもと 幸弘さん（バイオリン）



▲ 外山 啓介さん（ピアノ）



▲過去のコンサートの様子

お問合せ

福岡県日田彦山線沿線地域振興事業実行委員会（電話：092-643-3180）

東峰村役場ふるさと推進課（電話：0946-72-2312）

◆令和8年度 コミュニティ助成事業 (宝くじの社会貢献広報事業)の実績報告について

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの収益を財源に、社会貢献広報事業として、コミュニティ助成事業を実施しています。

この事業は、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備などに対して助成を行うことで、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としています。

令和8年度は以下のとおり事業を実施しましたので、報告します。

■ 令和8年度実績

■申請団体：上福井公民館

■助成区分：一般コミュニティ助成事業

■事業名称：上福井公民館施設におけるコミュニティ活動時のための空調設備の整備事業

■助成金額：160万円

■事業成果：上福井地区の地域活動の拠点である上福井公民館には冷暖房設備がなく、特に夏場の活動を行うには厳しい環境となっていた。コミュニティ助成事業によりエアコンが設置されたことで、快適な空間で様々な活動実施が可能となり、地域コミュニティのさらなる活性化が期待されます。

■ 来年度事業の募集時期について

例年、8月から9月頃に次年度事業の募集・申請があり、実施年度（翌年度）の4月頃に交付が決定されます。（申請及び交付決定時期は前後する場合があります。）

申請書類の準備が必要です。申請希望等がある場合は早めに総務企画課へご相談ください。

※申請にあたっては、団体の規約や活動状況が確認できる写真、事業で購入する備品のカタログ、見積書などが必要となります。

■対象事業：住民が自主的に行うコミュニティ活動に必要な備品などの整備事業

■助成額：100万円～250万円

■助成対象団体：地域のコミュニティ組織（行政区単位、まちづくり組織などの地域に密着した団体）



▲設置されたエアコン



総務企画課

◆令和 8 年熊本地震義援金について

令和 8 年 7 月 28 日 (火) に発生した「令和 8 年熊本地震」の被災者を支援するため、宝珠山庁舎と小石原庁舎に募金箱を設置しました。皆様のご協力をお願いいたします。



お問合せ

東峰村役場総務企画課（電話：0946-72-2311）



○職場のハラスメント集中相談会

福岡県筑後労働者支援事務所では、電話と面談による職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）集中相談会を実施します。相談は無料、秘密厳守、予約優先です。また、相談内容により弁護士相談も行います。

■日時

令和 8 年 9 月 15 日 (火) 及び 16 日 (水)
9:00 から 20:00 まで (受付は 19:30 まで)

■相談会場とお問合せ

福岡県筑後労働者支援事務所
住所：久留米市合川町 1642-1 久留米総合庁舎 1 階
電話：0942-30-1034

○筑後地域消防指令センターについて

筑後地域消防指令センターは、福岡県南部にある 7 つの消防本部（久留米広域消防本部、大牟田市消防本部、柳川市消防本部、八女消防本部、筑後市消防本部、甘木・朝倉消防本部、みやま市消防本部）が共同で運用しています。

指令センターの場所は久留米市にあり、筑後地域からの 119 番通報は、全て久留米市の指令センターで受信し、対応しています。

ここで、皆さんにお願いがあります。119 番通報のときは、市町村名から住所を教えてください。

筑後地域には、同じ地名や似たような地名が多くあります。そのため、消防車や救急車を迅速に向かわせるには正確な場所を確認することがとても重要です。皆様のご協力をお願いします。

○甘木・朝倉消防職員採用試験

甘木・朝倉消防本部では、消防職員採用試験を行います。

■試験案内配布・申込期間

消防職 A 令和 8 年 8 月 17 日 (月) から
令和 8 年 9 月 11 日 (金)

消防職 B 令和 8 年 9 月 28 日 (月) から
令和 8 年 10 月 23 日 (金)

(土曜日、日曜日、祝日は受け付けません。)

受付時間は 8:30 から 17:15

■採用予定人員

消防職 A 2 名程度

消防職 B 1 名程度

■受験資格

消防職 A 平成 18 年 4 月 2 日から平成 21 年 4 月
1 日までに生まれた人

消防職 B 平成 14 年 4 月 2 日から平成 18 年 4 月
1 日までに生まれた人

※身体の基本などがあります。

■試験期日《第 1 次試験日》

消防職 A 令和 8 年 10 月 18 日 (日)

消防職 B 令和 8 年 11 月 8 日 (日)

■試験案内配布場所

消防本部、東部・西部分署、朝倉・東出張所

※甘木・朝倉消防本部ホームページからダウンロードできます。

■受験申込書受付場所

甘木・朝倉消防本部総務課

住所：朝倉市一木 18-20

※申し込み方法 持参または郵送

■問合せ先

甘木・朝倉消防本部 総務課人事係

電話：0946-23-2751

8・9月 休日当番医表

在宅医表（8・9月）※ （色つき枠）は外科担当の病院です。

甘木朝倉在宅当番医

当番日	病医院名	所在地	電話
8月16日（日）	朝倉健生病院	甘木	0946-22-5511
8月23日（日）	いけだ内科クリニック	筑前町	0946-21-8105
8月30日（日）	星野医院	持丸	0946-21-0132
9月 6日（日）	古賀内科・呼吸器内科クリニック	宮野	0946-52-3011
9月13日（日）	朝倉健生病院	甘木	0946-22-5511

休日夜間急患センター

電話：0946-23-0077 所在地：朝倉市来春 422-1 朝倉医師会病院内

地域住民の休日及び夜間における初期救急医療を確保するため、休日夜間初期急患診療を休日夜間急患センターにおいて行っております。

診療科目	診療日	診療時間
内科・外科	平日（月曜日～金曜日）	20:00～翌日 7:00
	土曜日	12:30～翌日 9:00
	日曜日、祝日、年末年始	9:00～翌日 7:00
小児科	平日（月曜日～金曜日）	19:30～23:00
	土曜日	17:00～23:00
	日曜日、祝日、年末年始	9:00～23:00

歯科	当番日	病医院名	所在地	電話
	8月16日（日）	山口歯科医院	山隈	0946-23-1300
	8月23日（日）	うすきしんたろう子供・ファミリー歯科	一木	0946-24-3691
	8月30日（日）	うすき歯科クリニック	堤	0946-21-5252
	9月6日（日）	石井歯科医院	甘木	0946-22-3097
	9月13日（日）	しのくま歯科診療所	東小田	0946-42-4534

日田地区在宅当番医表	当番日	内科			外科		
		病医院名	所在地	電話	病医院名	所在地	電話
	8月16日（日）	下飛田小児科	中央	0973-24-1148	大河原病院	隈	0973-22-3131
	8月23日（日）	聖陵花月クリニック	清水	0973-27-5050	五反田病院	若宮	0973-23-8386
	8月30日（日）	こじかこどもクリニック	清岸寺	0973-28-8771	原病院	三本松	0973-22-7151
	9月6日（日）	福田内科クリニック	大宮	0973-25-5188	城谷病院	元町	0973-23-6115
	9月13日（日）	新関内科医院	田島	0973-24-3355	五反田病院	若宮	0973-23-8386
	*注意事項 1. 診察時間は午前9時から午後5時までです。2. 急患に限ります。3. 往診はしません。 *救急指定病院 ○日田中央病院 電話：23-3181 ○聖陵岩里病院 電話：22-1600 ○一ノ宮脳神経外科病院 電話：24-6270 ○済生会日田病院 電話：24-1100 *お問合せ 日田市役所 電話：0973-23-3111（午後5時以降は電話：23-0099）						

*日時等、変更になる可能性があります。事前に電話で確認してください。

救急車の適正利用にご協力ください！



甘木・朝倉消防署では、救急出動件数が過去最高のペースで増加中です。一刻も早い治療が必要な方のために、救急車の適正利用にご協力ください。

村の行事（8/16～9/15）			
月 日	曜日	行事予定	場所・時間・備考
8/18	火	乳幼児健診	いずみ館
8/25	火	総合健（検）診	小石原公民館・8：00～11：00（受付）
8/30	日	AIR コンサート	小石原公民館・13：30 開場（14：00 開演）
9/6	日	第 28 回福岡県消防操法大会	福岡県消防学校（嘉麻市） 8：00～13：20（東峰村消防団出場予定 9：45 頃）
		東峰村環境美化の日	村内全域・8：00～



人の動き			年齢別		
東峰村（令和 8 年 6 月末現在）前月比			0 歳～ 19 歳	215	12.6%
人口	1,700	▲ 8	20 歳～ 39 歳	207	12.2%
男	804	▲ 6	40 歳～ 59 歳	328	19.3%
女	896	▲ 2	60 歳～ 79 歳	658	38.7%
世帯数	774	▲ 3	80 歳～ 99 歳	287	16.9%
			100 歳～	5	0.3%

今月の納税	税 目	●村県民税（第 2 期） ●国民健康保険税（第 2 期） ●後期高齢者保険料（第 2 期） ●公的年金からの特別徴収（村県民税 3 期・国保 3 期 後期高齢 3 期） ※該当世帯のみ	東峰村ごみ収集量（令和 8 年 6 月分）（k g）			
			種 別	当月分	前月分	増 減
	納 期 限	8 月 31 日（月）	可燃ごみ	29,720	29,090	630
			資源ごみ	2,620	3,340	▲ 720
			粗大ごみ	710	550	160
口座振替日	8 月 25 日（火）		合 計	33,050	32,980	70

交通事故情勢（令和 8 年 6 月末現在）			
	発生（前年比）	交通事故死者（前年比）	飲酒運転事故（前年比）
朝倉署管内	114（－ 23）件	1（－ 1）件	1（＋ 1）件
東峰村	3（＋ 1）件	0（± 0）件	0（± 0）件
県下	8,426（－ 153）件	43（＋ 2）名	40（－ 7）件

■病院へ行く？救急車を呼ぶ？迷った場合は

⇒ 救急医療電話相談 電話：#7119（短縮ダイヤル）

■お子さんの急な病気や怪我で心配な場合は

⇒ 小児救急医療相談 電話：#8000（短縮ダイヤル）

Photo Gallery

フォトギャラリー



▲キキョウ



▲ムクゲ



▲キバナコスモス



▲サルスベリ



▲風に揺れる稲



▲すくすく育つ稲穂



毎月23日は親子読書の日です。本を読みましょう。

東峰村公民館

編集・発行

東峰村役場ふるさと推進課

福岡県朝倉郡東峰村大字宝珠山 6425

TEL 0946-72-2312 E-mail: furusui@vill.toho.fukuoka.jp